

穴危傳平次雄頭始末

透お壺の

耳たぶら穴





穴屋  
本所緑町  
夜鳴長屋  
(二十八才)



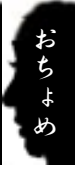
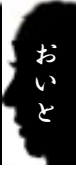
お面屋



御免屋



夜鳴長屋  
女房



絵師  
(六十四才)



娘  
(四十才)



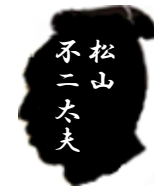
姉



海産物屋  
「能登屋」



旗本



用人



奥女中  
(大田南畝の娘)



料亭「はなぶさ」  
板長



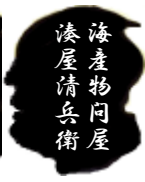
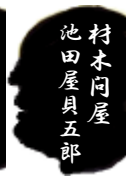
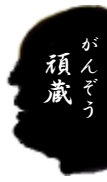
弟子  
(三十三才)



浜芝の板前



札差「江戸屋」



海産物問屋  
「伊豆屋」



南飯田町  
旗本



仁天堂



(二十一才)



手代



大鷲藩用人



平賀の養子



役者



両替商「三井」



番頭



お栄の  
離縁した夫



妹

